

ジェンツーペンギンと海鳥エトピリカの雛が誕生しました ～体重測定の様子を撮影いただけます～

海遊館（大阪市港区）では、2024年8月7日（水）にジェンツーペンギンの雛が、8月18日（日）にエトピリカの雛が、それぞれ1羽ずつ誕生しました。



ジェンツーペンギンの雛（8/28撮影）



エトピリカの雛（9/3撮影）

ジェンツーペンギンの雛は現在、「南極大陸」水槽で親鳥と暮らしています。誕生直後は親鳥の体に隠れて見えにくいぐらいの大きさでしたが、今では体重が1kgを超えるほどに成長しました。時折、雛に口移しで餌を与える等の子育ての様子をご覧ください。

エトピリカの雛は、2021年に海遊館で誕生した「ちりっぷ(オス)」が初めてメスとペアを形成し、誕生しました。エトピリカの継代繁殖（館内で誕生した個体が、次世代の繁殖に携わること）は、海遊館では初となります。

現在は「アリューシャン列島」水槽で親鳥が子育てをしています。雛は巣穴の中で過ごしているため、水槽外部から様子を見るのが難しい状態です。孵化後50日ほどで巣立ちを迎える予定です。

海遊館は、両種の雛を通して、生命誕生のすばらしさをお伝えできればと考えています。

【広報連絡先】

毎朝行っている、雛の体重測定をご撮影いただけます。
取材・素材提供をご希望の際は、下記までご連絡ください。

海遊館 広報・宣伝チーム（06-6576-5529）

【 ジェンツーペンギンの雛について 】

- 産卵日 : 2024年6月30日(日)
- 孵化日 : 2024年8月7日(水)
- 性別 : 不明
- 体重 : 79.2g(孵化直後)
約1200g(9月3日時点)



ジェンツーペンギンの雛(8/12撮影)

【 ジェンツーペンギンについて 】

英名 : Gentoo penguin

学名 : *Pygoscelis papua*

南極半島や南極周辺の島々に生息する。体長約75cmで、頭頂部にある白い斑紋が特徴。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産み、オスとメスが交代しながら温める。産卵後35~40日で孵化し、オスとメスが協力しながら子育てを行う。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。



【 エトピリカの雛について 】

- 産卵日 : 2024年7月8日(月)
- 孵化日 : 2024年8月18日(日)
- 性別 : 不明
- 体重 : 54.0g(孵化直後)
約160g(9月3日時点)
- 親鳥 : 父「ちりっぷ」(2021年海遊館生まれ)
母「けろち」



エトピリカの雛(8/19撮影)

【 エトピリカについて 】

英名 : Tufted puffin

学名 : *Fratercula cirrhata*

北太平洋の亜寒帯域に広く生息する海鳥で、現在、日本国内では北海道の一部地域でのみ繁殖が確認されているものの、その数は少なく、環境省レッドリストにて絶滅危惧IA類に分類されている。

